

2022年度 第1回 町田市立博物館運営委員会 議事録（要旨）

- 1 開催日時：2022年7月22日（金）午後2時～4時
- 2 会場：町田市民文学館3階第6会議室（リモート併催）
- 3 配布資料：
 - 資料1-1 2021・2022年度に開催した事業
 - 資料1-2 2021・2022年度に開催した事業
 - 資料1-3 玉川大学連携事業成果発表会（追加資料）
 - 資料2-1 2022年度中に開催予定の事業
 - 資料2-2 2022年度中に開催予定の事業
 - 資料3 （仮称）公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟
基本計画概要（案）
 - 資料3-2 ガラスと陶芸の体験機能について（追加資料）
 - 資料4 2023年度の事業予定

4 出席者：【委員】

井上 暁子 委員長	玉蟲 敏子 副委員長	今井 敦 委員
原田 一敏 委員	山口 有次 委員	宮原 裕美 委員
若月 雅裕 委員	伊藤 嘉章 博物館館長	

【市・事務局】

篠崎 文化スポーツ振興部長 本吉 文化振興課長
齊藤 担当係長（学芸員） 新井 主事（学芸員） 高橋（学芸員）

5 議題（報告・審議）

（1）報告-1 2021・2022年度に開催した事業

<資料1-1、1-2、1-3>

事務局 体験講座2件、大学連携2件、ブース出展1件を実施した。
委員 桜美林大学学生対象のハガキデザインコンペの募集は8月までと
なっているが、まだ応募が来ていないのか。
事務局 今年はまだ来ていない。昨年度も最終日ぎりぎりに来ていたが、今
年度も応募があるのか不安である。
委員 桜美林大学の地域・社会連携室に確認を取る。

(2) 報告－2 2022年度中に開催予定の事業<資料2-1、2-2>

- 事務局 展示3件、体験講座8件、ブース出店1件を実施予定である。
- 委員 体験講座について8つの項目を伺ったが、幼児・子ども向けは何件で、大人を対象としたものは何件あるのか。
- 事務局 子どもしかできないというのは、「子どもセンターでガラス体験」のみ。子どもと保護者の組み合わせでないと参加できないのが、「粘土から作る My 茶碗 My 箸置」、「町田の土で皿づくり」、「幼児向けやきもの体験」の3つ。あとは子どもから大人まで体験が可能である。
- 委員 大人だけを対象とした講座はあるか。
- 事務局 大人だけという企画はない。
- 委員 ガラスフュージング体験講座の3種類のうち、②ブローチと③皿づくりについて、レベルの差を設けるなど募集の際に差別化は図っているか。
- 事務局 ②ブローチについては季節感を前面に出している。レベルについては①ストラップと変わらないので、とくに触れていない。③皿づくりについては、レベルというよりも、もっと長い時間やりたいという意見をいただいていたので、ゆっくり・深く・じっくりできるという告知の方法をとる。

(3) 報告－3 (仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟基本計画概要(案)について<資料3、3-2>

- 委員 資料の中で喫茶の機能が明記されているが、喫茶機能に加えて、物販も置いた方が運営上望ましいのではないだろうか。本館の物販との兼ね合いを配慮したのかもしれないが、どのように考えているか。物販を本館だけで行うのではなく、喫茶にまではみ出して機能を置いておくことで、双方の促進にもなるのではないか。
- 事務局 本館のミュージアムショップや喫茶については、細かい内容がまだ決まっていないので、これから検討していく。
- 委員 工房・アート体験機能について、制作を体験するだけでなく、できた作品を発表できる場所も必要ではないか。展示することで、一般の人に広く体験工房をアピールすることにも繋がる。
また、やきものの焼成などは講師の先生にお任せするとあるが、自分の作品が焼き上がる様を見たい方もいるのでは。講師の方の迷惑にならない範囲で、見学できる機会も必要だと思うので、検討し

- ていただきたい。
- 事務局 作品を発表することに関しては、国際版画美術館の市民展示室を活用できると考えている。
焼成の場を見るというのは、講師と相談する必要があるが、見学ツアーなどは考えていきたい。
- 委員 体験工房のガラスややきもの体験は、どのくらいの頻度で実施することを考えているか。
- 事務局 運営に関する詳細については、これから検討していく。土日が中心となると考えているが、具体的なことはこれから詰めていく。

(4) 審議－1 2023年度の事業予定 <資料4>

- 事務局 展示3件、体験講座10件、大学連携2件、ブース出店3件を実施予定である。
- 委員 パネル展「いけばな×花器展」について、例えば会期中に、花を生けた方と花器を作った方とのトークイベントなどをやってみるのはどうか。また、今年度の酒器展にも該当することだが、プレスリリースをする際に、関連するジャンルの雑誌などに送ってみるのはいかがか。
「多摩クラフトコラボ展」について、デザインに選ばれた人との契約関係についてはどのようになっているのか。また、選ばれた方の個人名がメディアに掲載されると盛り上がるのではないだろうか。
- 事務局 「いけばな×花器展」ならびに「酒器展」へのご助言については、今後検討させていただく。
デザインコンペの契約については、一切の権利を町田市に譲渡していただくということにしている。謝礼としては、3万円をお渡ししている。案内はがきの表面に採用された方のお名前は載せているが、今後インタビューなど行い、インターネット上に掲載することも考えたい。
- 委員 桜美林大学には博物館に近い東京ひなたやまキャンパスに芸術文化学群があり、ホールや展示室をアートの活動に活用できる。博物館として、そちらと協働することは可能か。
- 事務局 2023年度の予算案はすでに出してしまったので、費用がかからない範囲であれば検討の余地がある。
- 委員 桜美林大学の担当者に投げかけて、コラボレーションを模索した

い。

委員長 審議内容を承認する。

事務局 本日いただいたご意見をふまえ、今後の博物館の運営を行っていく。
これを以て閉会とする。